**第168回ぺん川柳　お題「芋」　　　　　　　　　　　世話人：平尾富男（酔深）**

**日時＝平成３０年４月２７日(金)** 、**今月のお題＝「芋」です；**

**（\*印は今月の互選句、\*は最優秀句）**

**１.「ガス漏れの主犯じゃないと芋怒る」明迷**（八木）**→　得点＝　２**

匂いがすると誰かが体内からガスを発したと思われがちですが、その原因は薩摩芋を食したからだとは限りません。芋の名誉のために詠まれました。

**２．「お嬢さま御薩御ジャガで芋頼り」晃二**（安藤）**→　得点＝　０**

　お芋、特に薩摩芋のせいで体内にガスが溜まるとご婦人はおっしゃいます。

**３．「夏近き『芋』を詠ませる季節ボケ」我々好**（浜田）**→　得点＝　０**

      芋の季語は冬だとおっしゃりたいのでしょうね！？季節外れのお題を出したと、世話人を揶揄しています。

**\*４．「芋ネーチャンつぶやくだけでＭＥ ＴＯＯに」醉雅**（西川）**→　得点＝　３**

　「芋ネーチャン」と今流行りの「ＭＥ ＴＯＯ」に反応して点数が入りました。作者もそれをあてにしたのですね。当然ながら、ペン川柳の芋ネーチャンからは点数が入りませんでした。

**５．「仏頂面麦・米・芋だ笑ってよ」井波**（稲宮）**→　得点＝　０**

作者だけが理解している意味の深い？句です！　**笑って**差し上げてください！

**６．「モリカケのうまく切れるか芋の蔓」明迷**（八木）**→　得点＝　０**

元句は「切られた」と過去形でしたが、その当時は「**切られていなかった**」ので

添削されました。いずれにしても得票はありませんでした。

**\*７．「不味い芋農林一号国救う」損得**（細谷）**→　得点＝　３**

作者は食糧事情の悪かった戦後の経験を思い出して詠みました。最近の若者には理解できない句です。「農林一号」は当時栽培された薩摩芋の名称ですから、その前の「芋」は重複していますが、そんなことを知らない世代に対する作者の親切なんです。作者の世代がそんな芋を食べて生き延びたお陰で今の繁栄があるのです。

**８．「戦時中一生分の芋を食い」不言**（岩崎）**→　得点＝　２**

　　前句に通じる追憶の川柳です。一生分とは言いながら、今でもお芋大好き人間として毎日味わって食べて、ついでにガスも放出しています。

**９．「やき芋に残る戦時の食事情」醉雅**（西川）**→　得点＝　２**

戦中戦後の困難な食事情の象徴ですが、今では高価な食べ物に昇格しています。

うら若い女性が好んで食する美味しいおやつでなんですから。

**１０．「種芋と云われ埋めたが芽が出ない」酔深**（平尾）**→　得点＝　1**

　「種芋を埋める」とは**意味深**ですが、「芽が出ない」が不明瞭ですね！

**\*１１．「芋づるを手繰ればスクープ大当たり」火酒**（三春）**→　得点＝　５**

最高点を得た優秀時事川柳句です。諸事情を探っていると芋づる式に新事実が出来して、一大スクープとなることがありますね。

**１２．「ジャガ芋がドイツが俺を呼んでいる」だし**（大野）**→　得点＝　２**

ドイツ大好き人間の作者です。ジャガ芋と聞くと居ても立ってもいられません。

　早速航空券を手配してしまいます。句としては面白くありませんが……

**１３．「芋掘って聖戦勝つと屁をこいて」不言**（岩崎）**→　得点＝　１**

戦時中の愛国者たる作者は、**贅沢は敵**だと、お芋ばかり食べて暮らしました。

　「放屁」はその結果なんです。今でも習慣で「こいて」います。

**１４．「芋姐ちゃん黄髪白髪ムラサキも」我々好**（浜田）**→　得点＝　２**

今どきの元気なお嬢さんたちは、**茶**髪どころか各色派手ハデに染めて芋振りを大いに発揮しているのです。作者は非難しているのではないのです。自らも黒々と染め上げているんですから。

**１５．「こう云うとセクハラですか芋ねえちゃん」安兵衛**（山縣）**→　得点＝　１**

泥のついたお芋のように垢抜けしない容姿の女性を指して言うのが「芋姐ちゃん」

です。当世、女性蔑視のこんな言葉を掛けたら、すべての女性からセクハラの誹りを免れません。

**１６．「芋見ると戦時の悪夢もういやだ」零門**（松谷）**→　得点＝　１**

物資に困窮したあの頃を思い出したくもありませんよね。でも、今はお芋は高級なおやつなんですよ。

**１７．「お湯割りは芋にしますか麦ですか」損得**（細谷）**→　得点＝　１**

焼酎の飲み方です。暖簾をくぐれば二者択一を要求されますね。世話人は「芋派」なんです！

**１８．「芋ばかり食べて育った十六文」酔深**（平尾）**→　得点＝　1**

プロレスのGiant馬場も芋世代ですよね。芋でも大きくなるんですよ！

**\*１９．「芋の葉の真珠コロコロ子をあやす」晃二**（安藤）**→　得点＝　２**

俳人（廃人にあらず）！でもある作者の句ですから、川柳というより俳句のようにきれいですね！　きれいというより可愛い句ですよね。

**２０．「芋侍ガス抜きしても鼻つまみ」火酒**（三春）**→　得点＝　１**

　　ガス抜きとは、不満や精神的なフラストレーションが溜まっている時、それが噴出する前になんらかの方法で解消することなんです。芋侍と呼ばれるペン川柳の男性陣に対しては、「ガス抜きは意味がない」と作者は思っています。嗚呼！

**\*２１．「まだ出るか芋づる式のスキャンダル」安兵衛**（山縣）**→　得点＝　３**

　特に政治の世界では、一人が疑われると、此の人も彼の人も疑わしい行状が炙り出されるのです

**\*２２．「芋粥をすすった頃は肥満なし」井波**（稲宮）**→　得点＝　２**

確かに、食糧事情が悪かった戦中戦後には肥満体を見掛けることはなかったです。

**２３．「焼き芋のうまさに負けてメタボ腹」零門**（松谷）**→　得点＝　０**

　作者のメタボ腹は焼き芋が原因ではありません。美食、それも愛妻の作る手料理なんですね。

**２４．「じゃが芋の味が気に入り欧州へ」だし**（大野）**→　得点＝　０**

作者のドイツ好きは天下に轟いています。ジャガイモのようなドイツ女性に恋い焦がれているとの噂も……！

今月の優秀句は、五句ではなく**六句**が選ばれました。優秀句は**\***印、その内の赤印**\***は

最優秀句。

出席：**西川**（酔雅）、**平尾**（酔深）、**松谷**（零門）、**稲宮**（井波）、**安藤**（晃二）、**山縣**（安兵衛）、**浜田**（我々好）、**細谷**（損得）、　　←　**8**人

欠席投句：**岩崎**（不言）、**三春**（火酒）、**大野**（だし）、**八木**（明迷）　　←　**4**人

次回は５月２５日（金）、お題「麦」での勉強会です。